

きたごうひがし

懸案の訓練を初めて実施

北郷東町内会防災会(裏面「会則」第6条の2参照)は懸案であった東会館の避難所設営訓練を9月19日(日)に実施しました。3年前の胆振東部地震とブラックアウトを想定し、コロナ禍の感染防止をしながら「避難所設営」に取り組みました(ホームページにも詳細を掲載)。今後は避難所訓練に関連させて、「避難所の運営訓練」にも取り組む予定です。

身近な避難所 北郷東会館で 避難所設営訓練を実施



1階玄関左手からロビーに行かず、直接入る受付の様子。感染対策のためのマスク、フェイスガード、ガウンは札幌市の協力で備蓄できました。非接触体温計で、発熱者や体調不良者の入館をチェックします。コロナがなければ不要であったものですね。

訓練内容は、1階で受付、発熱・体調不良者の一時待機所設置、車イス避難スペースの設置、2階には一般避難者滞在スペース、感染防止のテント配置、要配慮者の優先滞在スペース、授乳室・女性用更衣室の設置を行いました。また新たに導入した発電機の運転や照明確保についても確認しました。初めての訓練であり、本部役員及び地区本部長のみでの訓練でしたが、基本的なハード対策は確認、共有できたと思います。



本部長=澤田会長あいさつ



防災用の室内テントです。ほぼ1.8mの正立方体で大人4人は少々きついか？アルミシートが用意されており、床に敷けば寒さも一応防げます。



LEDライト
2灯用



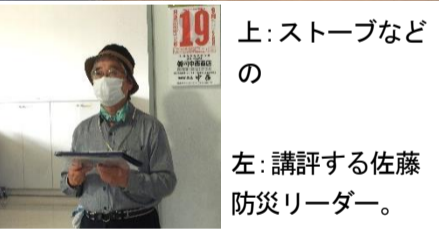
2階の避難スペース。テントは3張。床にゴザを敷き、テーブル(パーティション未整備のため代替)で区切りました。約40人が宿泊可能。プラス和室に10人です。



1階の受付近くに設置した発熱・体調不良者の一時待機所。



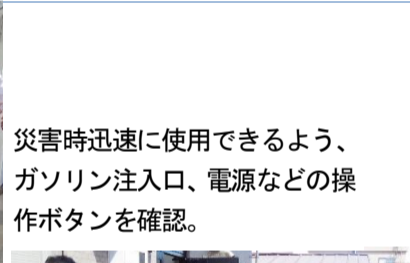
しかし、収納するときは丸く折りたたむなど複雑で大変苦労しました。とりあえず避難所立ち上げ時はOKです。



上: ストープなどの
左: 講評する佐藤防災リーダー。



防災用室内テントは、立てるときは1人でもできるような作りになっています。



災害時迅速に使用できるよう、ガソリン注入口、電源などの操作ボタンを確認。



昨年度、札幌市の予算補助で導入した発電機。発電能力は2,800W。不十分ながら既存の1台と合わせて2台を確保。

区長会議報告

第2回の区長会議が、9月16日(木)に各区長及び役員・部長の出席で開催されました。

○広報部
「きたごうひがし」の作成のため紙折り機を導入しました。広報紙に掲載の広告料を、年額から月額に改定しました。

○青少年部
コロナ禍で実施できる事業として(親子)絵画展を実施予定(12月で検討)

○女性部
敬老記念品該当者は、名、9/15各区長に配布しました。区長さんご協力ありがとうございました。

○除排雪プロジェクト
現状・各制度の説明を行い、来年度以降の実施・廃止の検討のためのアンケート調査も実施予定のため区長にも協力を依頼しました。今年度については実施予定(来年2月ごろ)。なお、除排雪の現状・問題点等につきましても、今後本紙でお知らせする予定です。

○前回区長会議で提案のあった、事業未実施の予算額の扱いについては、区費として還元する方向で進めるとのこととなりました。
各区長さんからの意見は、いろいろ分かれましたが、予算残額は、中止の年が伴う

当であるとの結論になりました。還元額の確定は年度末近くになると思います。が、各区におきまして用途等の検討をお願いいたします。

○回覧板の板を新しく作ってほしいとの要望がありました。現在、青色でや固めの材質のもの、在庫があまり少ないので、必要な区は事務局に申し出てくださいます。

○加入促進のため広報紙「きたごうひがし」を未加入世帯にも配布してはどうかとの意見がありました。現在も除排雪のときには全世帯に配布してはいますが、部数が2,000部ほど増えることから役員で検討することとしました。

【10月の予定】
・三役・部長会議 10/7(木)
・胃がん・大腸がん・肺がん検診日 10/13(水)〜14(木)

秋の大掃除は
10月24日(日)
9時から

東会館
10月の
休館日
3日(日)
24日(日)